

NISSAN MOTOR CORPORATION

日産自動車、軽クラスの電気自動車を2022年度初頭に発売

日産自動車株式会社

2021年08月30日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は、三菱自動車との共同プロジェクトとしてNMKVで企画・開発を進めている新型の軽クラスの電気自動車（EV）を、2022年度初頭に日本国内で発売します。

この軽EVは、“軽”の概念を覆すEVならではの力強い加速、滑らかな走り、そして高い静粛性を兼ね備えるモデルです。さらに、運転支援技術をはじめとする、様々な先進技術も搭載します。

バッテリーの総電力量が20kWhとなる本モデルは、安心して日常で利用できる航続距離を確保するとともに、EVバッテリーに蓄えた電気を自宅へ給電することで家庭の電力として使用することも可能です。もしもの時には「走る蓄電池」となり、非常用電源として十分な能力を発揮します。

車両寸法は、全長 3395mm / 全幅 1475mm / 全高 1655mmと、取り回しも優れ、非常に運転し易いモデルです。なお、お客さまの実質購入価格は約200万円からとなる見込みです。

日産自動車は、ゼロ・エミッション車のパイオニアとして、これまでに全世界で50万台以上、日本国内では15万台以上の電気自動車「[日産リーフ](#)」を販売しています。また、日本が抱える環境負荷低減や災害対策などの課題を解決するために、[日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」](#)活動を推進しています

2030年代早期より、主要市場で投入する新型車をすべて電気自動車（EV）などの電動車両とすることを目指し、引き続き、電動化技術の開発、電動化モデルのラインアップ拡充に向け取り組んで参ります。

※上記仕様は2021年8月時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

以上